

今月のピックアップ生薬

11月

展示番号 N0.5 黄連(オウレン)

生薬とは、植物などの、病気に効く成分を持つものを、精製しないで使ってきたものをさします。

実際には、1つの生薬だけで使われることは少なく、複数の生薬を混ぜ合わせて漢方薬として使用されたり、有効成分を抽出したりします。

「ピックアップ生薬」では、毎月1つずつ生薬をご紹介します。



今月は、写真の、**黄連(オウレン)**です。

タッチパネルモニターもご覧下さい。

黄連(オウレン)

◆使用部分 (つかうところ)

地中に埋まっている^{くき}茎の部分(根^{こんけい}茎) ……**地下の茎が大事!**

◆産地 (とれるところ)

日本各地、中国、ビルマ等 日本産では、兵庫県丹波地方の丹波黄連が有名でしたが、今は、丹波では作られていません。

他の地方でオウレンが生産されてはいますが、現在は、中国などからの輸入が多くなっています。……**安さで外国産に負けた**

◆用途 (どんな時に使う?)

唾液や胃液などの出やすくして、胃腸の調子を整えたり、下痢止めにも使われます。また、気持ちを落ち着かせたり、殺菌などの作用があります。……**口にするとかなり苦いです!**

◆どんな植物

キンボウゲ科の植物。常緑の多年生の草。根茎は、地中をはうように生えます。種まきから収穫まで5～6年程度かかります。茎を折ると、鮮やかな黄色を示します。なお、キンボウゲ科の植物には、キンボウゲ、トリカブト、アネモネなどがあります。

◆化学成分： **ベルベリン**

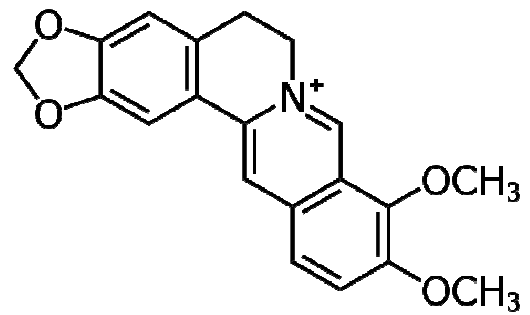
黄色の結晶

分子式： $[C_{20}H_{18}NO_4]^+$

分子量：336.36 g/mol

融点：145°C

ベルベリンには、コレラ菌、チフス菌などを繁殖しにくくする作用があります。



ベルベリンの構造式

来月は、No.12 の枳実(キジツ)を取り上げます。